



廣島縣管内巡察記卷上

鳴縣ノ管内ハ安藝備後ノ兩國ニシ
 其先安藝國全國並備後國ノ内御調
 奴世羅三谿奴可三上三次惠蘇ノ八
 ハ廣島藩ノ管轄ニシテ備後國ノ内
 津沼隈芦田品治安那神石ノ六郡ハ
 福山藩及之中津藩ノ管轄ト旧幕領ト
 ナリシヲ中津藩ト旧幕領トハ明治元
 年倉敷縣ノ所轄トナシ後廢藩置縣ノ
 際廣島及之福山藩ハ各縣トナリ同四
 年福山縣ト倉敷縣トヲ合シテ深津縣
 シ置カレ同五年之ヲ廢シテ小田縣ヲ
 置カレ同八年岡山縣ニ合シ又九年ニ

ハ岡山縣ノ備後六郡ヲ割テ廣島ニ合
併シ西國全ク一管轄ニ歸ス
西國俱ニ北ハ山陰ニ背ヲ接シ山巒綿
亘村落其間ニ點在シ沙鍊草綿麻等ノ
産物多ク南ハ南海ニ面シ港湾相連リ
嶋嶼星列シ海産ノ利モ亦多ク地勢民
業粗趣ヲ同フス然レモ旧福山藩領ノ
人ハ自ラ活潑ノ氣象アリ旧廣島藩領
ノ人ハ氣力乏シト云フ此ハ世間ノ論
者ノ說ナレモ氣力乏シキモノハ廣島
区内ノ人ニシテ即大藩城下游怠ノ遺
風ナル乎然レモ運輸便アリ物産ノ輳
ル所種々人工ノ産物アル所ニシテ特

ニ鎮臺ヲ置カレ控訴裁判所ヲ置カレ
タルヲ以テ旁繁華ヲ維持セルナリ
管内士族ノ数概々千七百九十餘戸多
クハ廣島三原福山ノ三所ニ住ス廣島
三原ノ士族ハ當初誘導ニ應シ翕然爭
テ家祿ヲ奉還シ農桑ノ業ヲ以テ恒産
トセントスルノ勢アリシカ漸次其目
的ヲ失ヒ家産ヲ盪盡スル者多ク終ニ
永遠確實ノ常業ナク僅ニ細利ヲ營ミ
糊口ニ汲々トシテ間々廉耻ヲ破リテ
顧ミサルモノアリ福山士族ハ其執ル
所各異ニシテ貧富モ亦同シカラスト
虽モ專ラ農工ノ業ニ從事シ力作勉強

スル者其半ニ過タリ此ハ家祿ヲ奉還
セスシテ其資本ヲ失ハサル者多ク目
下糊口ニ困迫スル者亦少シト云
去ル明治十年西南暴動ノ際廣島士族
ノ方向ヲ誤ランコトヲ怨レ縣廳ノ諭
旨ヲ奉シ淺野守夫寺尾小八郎等周旋
シテ以テ授産ノ基ヲ開カントス今ハ
之ヲ同進社ト云其後政黨ノ論起ルト
虽モ士族中之ニ加盟スル者少キハ蓋
此團結アルニ由ル昨年モ改進黨藤田
高之曾從テ河野敬小田狩元凱来リ煽
動スレ氏應セス其後嶋田三郎来リ演
説スレ氏應セスト云組合長四十二人

小組合長貳百五十人アリ其組合長四
十二人ハ小組合長中ヨリノ公撰ナリ
曾テ士族授産ノ事ハ此社ニ任セラレ
夕シト願ヒ出テ許可ヲ得タレ氏其後
請願規則發令ニテ差支ヲ生レ依テ旧
家老淺野忠淺野守夫上田讓翁ヲ總代
人トシ社員七千四百餘人ヨリ委任状
ヲ渡シ何モ同人等ヨリ願ヒ伺フコト
、ナリ又政黨ノ起リシヨリ平民間々
此社ハ加入ヲ願フ者アレ氏前段ノ通
士族授産ノ事ヲ兼タルヲ以テ平民ノ
入社ハ許シ難シ依テ本年二月ヨリ授
産ノ方ハ社名ヲ去リ第一授産所第二

授産所トシ本社ハ元ノ誓約主意書ヲ
作り追々平民モ加入スルコトヲ許サ
ントスト云

誓約主意書

恭シク惟ニ我皇國ノ國体タルヤ
天祖天孫極ヲ立テ統ヲ垂レ給ヒ
シヨリ歴世ノ
室祚聖子神孫聯綿傳承君主常
ニ我國体ノ精神トナリ之カ臣民タ
ル者モ其分夙ニ上古ニ定マリテ變
セス是故ニ
今上所治ノ生靈ハ即
天祖愛養スル所ノ裔孫ニレテ其分

ハ君臣其情ハ父子四海一家ノ真像
万世ニ亘リテ華ラス是我國ノ尊且
嚴ニレテ世界万国ニ比類ナキ所以
ナリ其政体ノ如キハ時ニ損益スル
所ナキコト能ハス故ニ
今上御即位ノ初ノ五事ヲ天地神明
ニ誓ハセラレ尋テ出ル所ノ
鳳詔一トシテ
祖訓ヲ尊崇シ斯民ヲ愛撫シ給フノ
勲慮ニ非サルハナレ嗚呼誰カ興起
セサランヤ苟モ皇國ノ臣民クル者
ハ協同一致内ハ
皇猷ヲ翼賛シ外ハ國權ヲ擴張シ以

テ臣民ノ本分ヲ尽サスンハアル可
ラス熟今日ノ状勢ヲ察スルニ浮薄
輕躁漸ク風ヲ成シ徳義廣恥殆ト地
ヲ拂ヒ建國ノ基ク所民俗ノ成ル所
ヲ弁知セズ狂走顛奔互ニ党ト呼ビ
主義ト叫ビ空理是レ談シテ實業ヲ
顧ミス將ニ我國固有ノ美ヲ失ハシ
トス豈寒心セサルヘケンヤ故ニ余
輩ハ今日ノ風潮ニ漂流セズ此然党
派ノ外ニ立テ大義ノ在ル所ヲ明カ
ニシ名分ノ存スル所ヲ正シクシ勤
儉以テ廉耻ヲ磨キ淬精以テ節義ヲ
勵シ空理ヲ去テ實業ニ就キ奮テ政

体ノ進化ヲ翼ケ進テ國家ノ富強ヲ
謀リ而シテ
皇室ヲ天壤無窮ニ奉戴シ國体ヲ億
万斯年ニ保持シ世界万国ニ對シテ
徳義ノ標準トナラント欲ス是余輩
カ尤ノ條項ヲ掲ケテ以テ同志者ト
誓ハントスル所以ナリ

明治十六年三月

浅野 忠
浅野 道興
上田 讓翁

誓約條項

一 皇國ノ臣民タル者ハ大義ヲ明カ
ニシ名分ヲ正シクシ大ニ固有ノ

美ヲ發揚スヘキ事

一 皇國ノ臣民タル者ハ我國體ノ世

界万国ニ比類ナキノ原ヲ詳ニシ

而シテ其政体ト混同スヘカラサ

ルノ由ヲ明ニスヘキ事

一 皇國ノ臣民タル者ハ各自廉耻ラ

磨キ節義ヲ励シ而シテ其分限ヲ

守ルヘキ事

元警部タリシ士族杉浦武雄日比剛ナ

ル者先般辞職シ此同進社中ニ在リテ

時々岡山縣諸會員ノ中ト通信シ或ハ

自ラ云同進社ハ頑固党ナル故之ヲ開

カシ為メ尽カスト然レ氏此兩人ハ密

ニ縣廳ヨリ月給ヲ受ケテ國事探偵ノ

為メ同進社ニ入込ムモノニシテ警部

ヲ辞シタリシハ表面ノミト云

廣島士族ハ其戸數五千八百五十戸ニ

シテ目下飢餓ニ迫ル者貳百戸ナリト

云第一授産所ハ官金壹万五千圓ヲ明

治十三年七月ヨリ十八年六月マテ五

ケ年間据、置キ十八年七月ヨリ向十

ケ年賦無利子ニテ縣廳、借受廣島旧

藩主淺野家ヨリハ所有ノ建物ヲ寄付

シ之ヲ設タル者ニシテ其業ハ綿繰綿

打糸挽機織ノ四業ニシテ専ラ婦女子

ニ工業ヲ授クル為メ授業師ヲ雇ヒ一

昨年ヨリ開業縣廳ニテ管掌セシ延旧
藩主家老淺野忠淺野道興上田讓翁淺
野守夫等ヨリ引受継続セシヨ願ヒ
且ツ増狎借金七千三百八十圓ヲ同年
七月ヨリ十八年六月マテ三ケ年間据
置十八年七月ヨリ向五ケ年賦年六
分ノ利ヲ付毎年九月限り返納定メラ
以テ許可ヲ得同年六月ヨリ同人等、
引受ケタリ故ニ廣島士族ノ授産金ハ
貸与金貳万貳千三百八十圓ト淺野家
ヨリノ委託金三万圓ト士族中ヨリノ
寄付金九百九十餘圓ト三種ナリ
又男子ニ授産スル為ノ淺野家ヨリノ

委託金利息ヲ以テ印刷事業ヲ興サレ
トス然レモ此第一授産所ハ傍教育ヲ
帶ル故入ル所或ハ出ス所ヲ償ハサル
ノ見込ヲ以テ同年十二月廣島出張大
倉組織場ヲ讓リ受ケ第二授産所ト称
シ專ラ綾小倉ヲ織リ廣島鎮臺兵卒及
ヒ水縣巡查等ノ被服用ノ注文ヲ受ケ
テ織出スヲ以テ漸利益ヲ得第一授産
所ノ費ヲ償フ此兩授産所ヲ有スル者
ニ實ハ同進社ノ士族ナレモ之ヲ同進
社授産所トスルハ同進社、平民ヲ
加入スルニ差支アルヲ以テ社名ヲ用
ヒス前ニ記スル授産ノ方ハ社名ヲ去

ルト云フ即是ナリ然レモ縣廳ニ於テ
ハ廣島士族授産ノ目的ヲ達スルハ到
底田土ヲ開墾シ以テ農桑恒産ニ就カ
シムルニ在リトシ士族ヲ誘導シテ既
ニ桑田開拓樹林培養ノ目途ヲ以テ安
藝國加茂郡野路山ノ官省地拂下ヲ願
出レノ尚繞テ廣島海濱ヲ埋築シ新地
ヲ拓クノ事ニ及ハントスト云此目的
ハ確乎タル事ニハアルヘシト虽モ海
濱埋築ハ深ク注入諸川ノ水吐キ近傍
港灣ノ埋填及ヒ従前將來海産ノ増減
ニ注意セスレハアル可カラス
福山士族ハ戸數貳千貳百十戸ニシテ

其内究迫甚シキ者貳百五十貳戸ト云
明治十年旧藩主阿部正恒ヨリ旧好ノ
情誼ヲ以テ授産補助トシテ金若干田
ヲ付与シ之カ利倍ノ計策ヲ為シ傍熟
田ヲ買得シ其收利ヲ以テ一時赤貧者
ノ救助ニ供スル方法ヲ設ケタリ之ヲ
義田社ト云又同地方ハ廣島ニ先テ養
蚕ノ業ヲモ執リ綿糸綿布ヲ製造スル
者モ少カラス又旧城廓ノ拂下ヲ乞ヒ
桑園トシ城濠ニハ養魚水草栽培等ヲ
為ス此事業明治十四年内務省ヨリ金
七千九百圓ヲ無利子ニテ同七月ヨリ
向五ヶ年据置明治二十年七月ヨリ同

二十五年六月マテ五ヶ年賦年三分ノ
利子ヲ付シ返納ノ約定ヲ以テ借受ケ
又郭濠等ハ事業整頓マテハ無料ニテ
貸渡追テ事業整頓ノ上申出ノ代價ヲ
以テ拂下ヘキ旨ニテ即今ハ猶借受中
ナリ養魚栽桑等ハ業已ニ蕃息ノ域ニ
至レリ
旧廣島藩一代率ハ士族ニ編入セラル
ヘキ者ナレ氏當時調査ノ粗漏ヨリ祿
ハ其終ニテ平民ニ編籍セラレ旧小人
ハ明治六年突然廢祿平民籍ニ編入
御沙汰相成リ只自然世襲ノ姿ヲ成シ
タル者ハ祿高二ヶ年分ヲ一時ニ下賜

セラレ一同無祿ノ平民タリ旧藩家老
淺野敬吾淺野守夫カ家来モ士族ニ編
入セラレヘキ者ナレ同家旧要役ノ
者取調粗漏ニテ士族ノ祿モ族モ得ル
能ハス平民トナレリ之ヲ三種族ト云
此三種族右ノ處分ヲ不当トシ追々不
平申立ル末終ニ授産金トシテ無祿士
族家老共ニ元一代率其人貧千七百
四十六人ハ明治十三年七月ヨリ無利
足二十ヶ年据置向十ヶ年賦毎年五月
限返納定ヲ以テ金七万四千貳拾圓
旧小人四千百二十二人ハ金十三万
圓合金貳拾万四千百貳拾圓其金ヲ以

テ設立シタル工場益械等悉皆抵当ニ
 差出ス筈ニテ縣廳、貸下ケラレタリ
 茲ニ於テ安藝郡上瀬野村ニ曩キニ農
 商務省ヨリ設置ノ水車仕掛ノ紡績所
 ノ拂下ケラ願々昨十五年六月ヨリ引
 受七月ヨリ試業セシニ八月以後ニ至
 リ用水ノ減スル為ニ機械運轉ス
 拂受代金四万六千余円ハ彼等五千八
 百六十九人ノ祿ニ代、族ニ代、タル
 貳拾万千四百貳拾円ノ恩借金ノ殆ト
 五分ノ一ナルニ斯ク不完全ノ工場ヨ
 引受ル其不幸モ甚シト云フ、レ抑水
 カヲ以テ運轉スル機械場ヲ設ルニハ

水源ヨリ末流マテノ利害ト年中流水
 ノ増減トヲ審カニ量ラサル可カラス
 従来旧主ノ扶持米ニノ生計ナル三
 種族ハ何ヲカ知ラシヤ工業ヲ管スル
 農商務省ニシテハ其ノ為ノ俸給ヲ
 忝フスル測量又ハ機械ノ技術者アリ
 テ此工場ヲ設ケラレシナラニ其測
 量技術者等ハ何ノ故ニ斯ノ如キ水流
 ヲ恃ミ此工場ヲ建築セシヤ凡官ヨリ
 人民、對シ其生活ノ為ニ賣リ渡ス
 工場ハ充分ノ試験ヲ遂ケ充分ノ利益
 ヲ生スルノ突アルモニ非ラレハ仮
 令人民買フテテ懇願スル決シテ賣渡

スヘカヲサレハ言フニモ及ハサル
ナレハ連ニ官一取戻シノ御處分アリ
タキ事ナラン乎又此三種族ハ本年別
ニ依伯郡小深川村ニ於テ水車仕掛八
十馬力鐘数三千本ノ紡績所ヲ設ケ其
費額八万五千六百八十円余ニ開業
ノ式ヲ行ヘリ
學校ハ師範學校中學校等ハ文部省ノ
直轄英語學校校廢餘ノ家屋ヲ引受ケタ
ル故築造頗ル壯大ナリト虽モ生徒ハ
寥々タルカト思ハル且定期試験後ト
テ教授ヲ見ル能ハス總ニ師範學校附
屬ノ小學校ヲ見ル教授方宜シト云ヒ

難シ總テ小學校ノ教授方岡山以西ハ
漸次ニ上國ト替ルヲ見ル廣島縣管内
ニ入テハ一層學事ノ振ハサルヲ覺フ
校舎ノ建營甚不都合益械モ調ハス生
徒板敷ニ坐シ方尺程ノ板ニ字ヲ習フ
教員ハ立ナカラ鞭ヲ持テ教フ何ノ故
カト問ハハ區長答テ云ク近頃民心學
事ニ向ヒ生徒俄カニ増ス故ナリト然
レモ高卓椅子ハ甚少ク方尺ノ習字板
ハ頗ル古ヒタルヲ見ル又問フ生徒ノ
増加セサル前ハ此僅々タル高卓椅子
ニテ事足レリヤト答テ云フ入費ニ堪
ハス民心學費ヲ出スヲ好マスト民心

学費ヲ出スヲ好マズ書籍ナクシテ教
、益械ナクシテ学ヘヨトハ今世行レ
難キ説ナル可シ都テ廣島縣人ニ事ラ
問ヘハ吾疾ク之ヲ知ル吾能ク其善キ
ヲ知ルト何故行レサルヤト問ヘハ曰
ク資金ヲ得ルニ道ナキナリト茲ニ真
宗坊主能美田乘ト云フ者アリ明治五
年ヨリ中島水町ニ私立小学校ヲ設ケ
開成舎ト号ス教員五人生徒三百五十
五人同乗カ妻婦モ亦助教ナリ外ニ漢
学生徒七十一人アリ其校舎ハ古屋ヲ
用ユト虽モ校中教則必ス文部省ノ成
規ニ由ル入学ヲ乞フ兒アレハ貴賤ヲ

論セズ必ス其父兄ヲシテ伴ヒ求ラレ
ム則父兄ニ約シテ云ク我教則蔽ナリ
父兄ノ教誡ハ更ニ蔽ナラサル可カラ
ス又其兒ヲ誠ノテ云ク子弟タル者父
兄ニ背ク可カラス父兄モ
天皇陛下ノ臣民タリ謹テ 朝廷ノ法
令ヲ守リ
天皇陛下ノ 聖旨ニ背ク勿レト此約
束教訓ヲ了テ後ニ入学ヲ許ス授業料
貧富ニ依リ等差アリト虽モ一人一ケ
月拾貳ヲ以テ最下等トス然レテ生徒
ニ接スル懇到ナリ故ニ鎮臺縣廳裁判
所等ノ官負ノ子弟ヲ始ノ区内ノ人民

モ己ニ公立小学ノ費ヲ出シタルモ見
童ヲシテ公立小学校ニ就テ学ハシメ
ス此校ニ就学セシム敢テ二重ニ費ヲ
出スヲ吝マサルナリ校ニ臨ムニ稍隆
盛ノ体ヲ見ル是ヲ以テ之ヲ考レハ民
心学費ヲ出スヲ好マサルノ區長詭ハ
何等ノ事タルヲ知ラス
地租改正後ハ米ノ乾燥俵仕立等ノ粗
ニナリシハ一般ノ事ナカラ本縣管内
ノ米位ノ下リシハ尤甚シトス
草綿ハ本縣ノ著名ナル物産ノ最大ナ
ルモノニシテ旧藩中ハ綿會所ヲ置キ
管内ノ草綿ヲ蒐ノテ之ヲ他國ニ輸出

シ以テ濫出惡計ヲ防キシカ廢藩後其
法亦廢シ其販賣ヲ肆ニシ斤量ヲ偽ル
等ノ弊害ヲ生シ頗ル声價ヲ損ス明治
十三年綿糖共進會ニ縣下ヨリ出品セ
シモノ三百餘名其賞ヲ受ケレ者四十
五名尔後改良ヲ計リ栽培ノ方法ヲ講
スルニ至レリ産出ハ安藝深津沼隈ノ
三郡ヲ最トシ如茂沼田豊田佐伯安那
芦田御調之レニ血ク
麻亦本縣ノ名産ナリシカ其製造宜シ
カラズ販路閉塞ノ景況ナリト云
藍亦著大ノ物産ナリシカ是亦近年泥
土ヲ混淆スル等ノ惡弊ヲ生シ其声價

シ
木綿織ノ衰ハタルハ洋品ノ輸入ト他
ノ地方ノ製造増シタルヲ以テナル可
シ
木地物傘等ノ販賣減セシハ世上物價
ノ下落ニ際シ其需用ヲ減セシ故ニ一
時影響ヲ来セルニテ諸物價ノ平均ヲ
得ルニ至ラハ恢復ス可キカ如シト虽
モ本縣ノ木地物傘等ハ従来低價粗造
ヲ專ラトセリ若シ其粗造ヲ改メス
ハ盛大ヲ致ス一ハ難カルヘシ
鑊ハ洋鑊ノ為シニ壓セラレ各坑概ネ
衰状ヲ呈シ休業ノモノ多シ

廣島縣下ノ經濟ハ山陰道、通スルノ
道路水理ヲ開キ南海ニ面スルノ港湾
ヲ善良ニスルヲ最第一ノ事トス高田
郡三田村ニ農民楠崎圭三ト云フ者ア
リ明治十四年安藝國高宮郡狩苗家村
ヨリ高田郡三田村ノ間貳ヶ所ノ嶮路
ヲ改良シ十五年ニ至リ全ク落成ス同
年更ニ廣島ヨリ起リ高田郡三田村筋
ヲ經テ三次驛ニ達スル車道開設ヲ發
起シ上川立村農三原典作其他沿道有志
者ニ説キ共ニ尽力シ計畫已ニ成リ本
年二月ヨリ工事ニ着手シ路線已ニ達
スト聞キ其寔地ヲ巡視スルニ幅員貳

間長サ十七里嶮阪ヲ平坦ニシ迂路ヲ
直線ニス十七里間阪路ハ僅ニ一二ヶ
所今猶之ヲ切下ル工事中ナリ其直線
ニ當ル處ハ田畠ト虽モ必ス之ヲ串貫
スサレ凡人民ハ競テ其田畠ヲ寄付セ
リ遙ニ之ヲ望ノハ一直線敷村ヲ貫キ
匠ノ繩墨ヲ以テ画セル如キアリ巡視
ノ前日ハ大雨篠ヲ乱ス如ク新道ノ泥
土車輪ニ粘シテ少シモ進マズ歩シテ
行ク泥深キ一尺餘翌日午前ヨリ漸ク
晴ヲ催スト虽モ新道尚未ク乾カラサ
ル處多シ工事ニ従事スル村民ハ鼓ヲ
打テ旗ヲ建テ土石ヲ運搬ス先般人民

ヨリ縣令ノ巡視ヲ乞ヒシ時ハ鐘鼓ヲ
打テ囀シ迎ヘ村々隊ヲ分テ旗ヲ建テ
前後ヲ擁シテ行ク歡声數里ニ亘ルト
云巡察使ノ巡視ニハ九程ノ事ハアラ
サリシカ幟ハ路ノ左右ニ建テ皆紅白
色ヲ用ヒ村名ヲ記セリ又田ニ耕ス者
モ家ニ養蚕スル者モ業ヲ措テ走リ来
リ雨ヲモ泥ヲモ厭ハス路傍ニ群集シ
見ルアリ又跡ヲ追ヒ来ル者百人貳百
人続々斷ス謂フ新道ヲ貴官ノ經過
スルヲ喜フト乃チ一村或ハ半村毎ニ
止リ慰諭シテ去ラシム此路程十七里
間皆村々自カラ以テ開クモノニシテ

敢テ官金地方稅等ノ補助ヲ仰カスト
云工事未タ大成。至ラスト虽モ十七
里間幅負貳間ノ路敷ハ全ク開ケ竣功
近キニアルハ皆檜崎圭三カ首唱ニ
テ村々有志協力諸人ヲ勧誘セシニ由
ルト云其他依伯郡草津村ノ小泉甚九
工門カ同郡二十日市以東ノ國道井口
村小巳斐峠古郷村ノ内長崎峠大野村
鎗出ニ峠月村四十八坂玖波村ノ内字
馬試ニ峠木野村字若ノ坂等ノ峻阪ヲ
改メテ廣島以西大竹村ニテ九里余ヲ
平坦ノ大道ト為スニ尽力シ奴可郡久
代村ノ高坂新太郎カ同郡東城町ヨリ

深津郡福山、達スル道路改修東城川
通船事業等ニ尽力シ三次郡上里村士
族有田實カ雲伯往還三次郡上里村宮
ノ峽ノ縣道ヲ改良スルニ尽力シ豊田
郡惣定村森田与市カ惣定村ヨリ忠海
村ニ達スル里道ヲ改良シ加茂郡郷村
有田久杵原村今井兼綱溝口村古川俊
夫等カ同郡溝口村ヨリ豊田郡田万里
ニ直ル堀阪里道并杵原村梶毛峠ヲ堀
下ルニ尽力セシ等ノ事アリ猶檜崎圭
三カ此度ノ改路一挙ヲ聞テ続々奮テ
改路ヲ企ツル者多ク又三次川其他通
船工事ヲ企ツル者多シト云豈藝州人

ヲ氣力乏シト云フヘケンヤ
右ノ如ク改路通船ノ事ニ奮起尽カス
ル者ハ皆郡中ノ人ニシテ廣島區中ニ
ハ未タ一人アルヲ聞カス廣島港灣モ
未ク浚疏ニ着手スルヲ見サルハ是レ
世ニ謂フ藝人氣力乏シトハ全ク廣島
區内ノ人ニ限ルナラシカ
廣島縣管内ニ入テ路上官山ヲ問ハ
村吏指シ答テ曰ク阿ノ禿山ハ官山ナ
リ那ノ樹木疎ナル處官林ナリト縣官
亦曰ク人民ニ向テ禿山土砂崩潰ノ害
ヲ説クニ却テ禿山ハ官山ニアリテ官
ヨリ防沙ノ事届カサルヲ苦レム管下

樹木ヲ盜伐スル者多シ其盜伐スルヤ
官林ヲ最多シトスト徹島ノ如キハ先
年ハ深樹鬱蒼ト神仙ノ山ナルヲ覺ハ
シモ今ハ盜伐ノ為ニ樹林間隙アリ
テ稍風致ヲ損スルヲ覺ユ
廣島縣管内近來海賊多キヲ以テ捕縛
費トシテ内務省ヨリ金千圓ヲ請受ケ人
民ヨリモ三千圓ヲ出金ニ水上警察ヲ
設ケ数人ノ賊ヲ縛セリ然レモ此水上
警察ハ人員モ僅少必竟警察費金乏シ
キ故ニ充分ノ事ニ到ラスト云然レモ
此縣ノ警部ハ他官ヲ兼タル者多ク其
兼タル者ハ專ラ其兼務ニ従事スト云

又縣官ノ言、云此縣ニハ從來山果ト云無籍ノ民アリテ其住所定ラス或ハ筆墨ヲ賣リ廻リ壓シテ人々買ハシノ或ハ詐欺金錢ヲ街リ取ル等ノ事ヲ為シ甚良民ノ害トナルサレバ警察吏之ニ着手スレハ忽チ去テ他ニ移リ凡山口縣島根縣鳥取縣地方、連リ移転シテ定處ナク四縣ノ警吏協議シテ拿捕セサレハ得可カラス其人負多クニテ容易ニ概算シ難シ仮令四縣力ヲ合セ拿捕スルモ其所置ニ若シム政府ヨリ入籍ノ費金下賜ナケレハ差支ルニ付未夕着手セスト云

本縣監獄署ハ湿地ニシテ甚不潔飲用水亦甚惡シ囚人九百貳拾四人過日菜腸室扶斯檻内ニ流行シ死者十人治療中ノ者七人アリ又現今十六月二眼病ニ罹ル者百四五十人アリ汚水溝渠ニ溢レ臭気鼻ヲ劈ク如シ支署未決檻ニ甚狹隘不取締ナリ現囚貳百四十五人此檻ニテハ時々破獄ノ企アリテ過日モ釘ヲ瓦ニテ研キ檻ノ一隅ノ板ヲ切りシト云一房増築中ニテ檻内モ混雜ニタリ又對面願人差入物願人ノ多キハ目ヲ驚カセリ平均日々對面願人三十人差入物願人百人余アリト云他方々

テハ未夕此ノ如キノ甚キヲ見ス
廣島縣下ニ於テ始テ政黨ヲ組織セシ
ハ明治十二年比ニテ愛媛縣士族森島
昇三ナル者恭磨立志舎ト号シ同志四
千四百余名ヲ集ム同年高知縣士族山
田十畝亦未テ廣島立志舎ヲ設ケ三百
余名ノ加入ヲ得タリ何レモ民権自由
ヲ擴張スルヲ以テ目的トシ各所ニ演
說會ヲ開キ一時大ニ愚民ヲ煽動セシ
モ彼等ノ言行一致セサルヨリ數月ヲ
経テ衰頽ス十三年春ニ至リ解散セリ
然ルニ同年四月山田十畝更ニ興國舎
ト号シ一社ヲ組織シ社員三十余名ア

リ東西奔走シ同盟ヲ募レトモ應スル
者ナク數月ヲ経スニテ是亦解散ス翌
十四年本縣士族守下薰等主トシテ公
道會ト稱シ自由民権ノ政黨ヲ組成シ
加盟スル者六十有余名ニ及ビシモ碌
々取ルニ足ラザル無氣力者共ニシテ
昨十五年ニ至リ解散シ守下ハ更ニ平
民前田篤之助脇榮太郎黒川修三秋山
忠夫等ト藝備立憲改進黨ヲ組織シ加
盟スル者甚カラス多クハ縣會議員ナ
リ此黨モ漸々衰々日々除名スル者多
ク現今八十余名ト云其他大坂立憲自
由政黨、加リシ者八十余名ナリシカ

該党ハ本年三月解散シタリト云山田
十畝ハ三原ノ旧家老戸田ナル者ノ養
子トナリ今ハ戸田十畝ト号ス三原
於テ日本補仁會ヲ設ケ立憲自由党山
科礼藏等ト詩歌立花等ノ遊藝ヲ以テ
席上演説ヲ為ス人負八十名位アリト
云又昨年改進黨島田三郎等カ来テ政
談演説ヲ開キニ時加茂郡及ヒ縣會議
員ヲ除ク外ハ之ニ應スル者無ク尾道
ノ如キハ郡長警察官等申合固ク防テ
遂ニ一人ノ加入スル者モナカリシト
云

廣島縣管内ニ入りヨリ郡役所ヨリ

人民共育ノ凶年豫備儲蓄米アリト具
申スル多レ凶荒ノ備穀ハ先年ノ備荒
儲蓄法ノ為メニ行ハレズ從前社會義
倉其他良法アリレモ多クハ破レタリ
シニ此縣ニ来テ猶其備ヘアルハ最歡
フハキトト思ヒ其米穀ノ所有ヲ問ハ
ハ或ハ金ニテ儲ルト云或ハ貸付アリ
ト云甚レキハ永代貸ヒセシ杯云終ヒ
影ヲ撮ム如キ感覺ヲ生ス夫レ凶荒豫
備穀ノ如キハ無ク有ト記シ金ヲ米ト
記スル如キトアル片ハ官モ之ヲ有ト
レ米トシ民亦有トシ米トシ一旦事ア
ル時ニ臨ミ之ヲ恃ンテ他ニ備ヲ為サ

ス却テ大ナル害ヲ為スヘシ豈危嶮ノ
事ナラスヤ若シ然ル時ハ無ハ無トス
ルノ勝レルニ若カサルナリ

明治十三年流行病豫防費トシテ下シ
賜リシ内庫ノ御金千圓ハ各郡人口
ニ割リ分配各郡適宜ノ方法ヲ設ケ貯
蓄セリト云

廣島控訴裁判所昨十五年中控訴六百
三十八件初告十件合計六百四十八件
本年一月ヨリ六月マテ控訴四百四十
一件初告五件合計四百四十六件其管
内各重罪裁判所昨十五年中裁判件数
廣島山口各十八件島根鳥取各一件合

計三十八件本年第一期廣島十三件山
口四件鳥取五件合計二十二件ナリ所
長判事松岡康毅ハ才力アリテ品行方
正ナリト云フ

廣島鎮臺管下ニ於テモ近來人民ノ軍
人ヲ過スル厚ク本臺及ヒ分營ニ於テ
モ亦能ク地方官ト協議シテ敢テ軋轢
アルトナシト云フ

大藏省租税局廣島出張所ハ廣島山口
兩縣ノ收税ヲ管ス租税怠納者従前ハ
山口縣ハ少シテ廣島縣ハ多カリシカ
十五年度ニ於テハ兩縣トモ不納スル
モ甚稀ナリ公賣処分ヲ以テ揭示中皆

納ヲ告申シ其間行邊ノ廉アリテ局ヲ
結ハサレモ唯一件ノミアリト云昨
年酒類増税ノ布告以來管下面縣々テ
廢業ヲ願出シモノ廣島縣々テ六十八
人山口縣々テ六十七人之ヲ前年度ニ
比較スレハ一万三千四百十九石二斗
五外三合ヲ減少セリト云地租修正ヲ
願出シモノ廣島縣御調郡重井村沼
隈郡模嶋村ノニヶ村ノミ

廣嶋縣管内巡察記卷下

廣嶋縣廳

管轄

安藝一圓

備後一圓

戶數

貳拾六万五千九百五拾七戶

人口

壹百貳拾五万貳千七百九拾七人

地租

金百貳拾七万九千八百四拾壹圓四拾錢

雜稅

金三拾七万五千貳百五拾九圓貳拾六錢三厘

定額

金七万壹千四百六拾八圓

地方税

金五拾五万五千七百〇六圓〇五錢

警部給興

金壹万六千九百拾六圓拾貳錢參厘

金四百四拾壹圓四拾五錢三厘 十一年度より繰越高

警察費

國庫下渡金壹万八千四百九拾八圓七拾五錢三厘

地方税金七万六千百三拾九圓九拾錢六厘

合計金九万四千六百三拾八圓六拾五錢九厘

官吏

四百貳拾九人

廳中分課

調査

庶務

兵事

勸業

學務

衛生

租税

地理

出納

地方税

警察官吏

五拾三人

但前記官吏員數入

巡查

四百九拾九名

警察署配置

警察本署

廣島警察署

京橋分署

海田市分署

廿日市分署

河部分署

相田分署

瀬戶分署

大竹分署

大朝分署

加計分署

四日市警察署

廣分署

本郷分署

瀬戸田分署

福山警察署

鞆町分署

府中市分署

尾道警察署

今津分署

甲山分署

三次警察署

吉田分署

竹原分署

忠海分署

川南分署

油木分署

三原分署

上下分署

吉舎分署

西城分署

庄原分署

廣島水上警察署

瀬戸水上分署

尾道水上警察署

鞆町水上分署

忠海水上分署

賊難ノ度數

五千七百貳拾度

捕賊ノ負數

貳千三百八拾九人

監獄署

監獄本署

廣島監獄署

廣島監獄支署

尾道監獄支署

三次監獄支署

在監囚人

未決三百九拾七人

已決九百五拾九人

郡區役所

廣島區

安藝

佐伯

高田

賀茂

豊田

深津沼限

蘆田品治

三三

三三

三三

郡區長委任條件

例規了ル恤救施行、事

一 郷社以下及寺院並佛堂在來建物建換及

修繕願、事

但式内國史現在、神社、此限ニアラス

一 郷社以下並寺院什物取締、事

一 改宗改式改壇廟ヲ聞置、事

一 絶家再興願、事

一 棄児迷子處分、事

一 難破船并漂流物取扱、事

一 郡區書記父母看病、為、一週間帰省願

及除服出仕違、事

一 町村戸長養病並墓参願及除服出仕違、

事

一 町村戸長祖父母父母妻子疾病ニ付看病

願、事

但妻子、他ニ看護、者無之ハ限ル

一 学務委員衛生委員及町村医、養病旅行

願并除服出仕違、事

一 地券下典及書換、事

一 官地ニ生ズル動植物魚鱈果実楮竹皮
蔴蘆水草藁、類其

期節ニ臨ミ公、入札ヲ以テ下クル事

但官林部内、此限ニアラス

一 町村衛生委員并町村医ヲ配置監督スル

事

一 施薬治療券授與、事

一 種痘ヲ普及スル事

一 各種傳染病流行ノ勢ト盛ニナルニ際シ

衛生委員ヲ増加スル事

一 煙草營業及出賣仕入鑑札願、事

一 牛馬賣買鑑札願、事

一 舟車検査、事

一 船舶賣買歸國者鑑札添翰附與、事

一 諸興行等、為、社寺官有、境内其他山

林部ニアラサル官有地使用願、事

但公園地及河川附寄洲、此限ニアラス

一 官有地中建設、家屋賣買讓与書入質入

公証願、事

一 酒造検査負ヨリ請書簿引継テ分界トシ

酒造器械開封印ノ事

一 賣金ハ引当テ預未受渡方、事

一 酒造并醬麴營業額ノ事

一 公立學校二週間以内閉鎖ノ事

一 公立學校ノ蓄積金ヲ監査及其方法ヲ立
ツル事

一 郡區内學事關係、職負ヲ監督スル事

一 公立學校職負歸省養病旅行願及洋服出
仕達ノ事

一 揭示場修繕ノ事

一 道路橋梁定式、工事ヲ修ムル事

一 渡津ヲ開キ或ハ之ヲ變換スル事

一 定額常費並額外常費支出ノ事

一 協議費及自費ニ屬スル堤防水切等ノ新
築並ニ位置變更、工事振査ノ事

一 郡區役所需用品購求又ハ不用物品賣却
ノ事

一 郡區役所修繕ノ事

一 罹災、為ノ自ラ生存スル能ハサレ家民
ハ一時食料ヲ給シ并小屋掛料種穀料ヲ

給スル事

一 備荒儲蓄米倉監守人ヲ監督スル事

一 備荒儲蓄金徴收及不納者處分ノ事

一 地方稅ニ關スル諸營業及ニ鑑札領又ハ
廟ノ事

但治水道路橋梁及水陸運輸ニ關スル

會社私立銀行并之ニ類似、會社保險

會社屠牛營業藥舖營業製藥免許牛乳

採取及販賣氷雪貯藏及七販賣水車領
ノ類、此限ニアラス

- 一 地方税中營業稅雜種稅捕魚稅及七採藻稅額及免稅ノ定ムル事
- 一 傳染病流行ノ際消毒藥販賣額ノ事
- 一 烟火製造及七貯藏販賣許否ノ事
- 一 自飲酒製造免許鑑札下渡ノ事

長程場

七百四拾九ヶ所

縣會議員

六拾壹人

官衙所在地

廣島鎮台

安藝國廣島區廣島基町

工兵第五方面本署

全國全區南町下一番町

廣島控訴裁判所

全國全區廣島小町

廣島始審裁判所

全國全區全三川町

廣島治安裁判所

備後國御調郡尾道久保町

尾道治安裁判所

全國三次郡上里村

租稅司廣島出張所

安藝國廣島區廣島天神町

廣島電信分局

全國全區全大寺町貳丁目

尾道電信分局

備後國御調郡尾道久保町

官林及別

九万。百五拾八町壹及六畝拾八步

縣立學校

廣島師範學校

地方稅ヲ以テ維持ス

教員拾壹人

生徒百貳拾人

附屬小學校

生徒百七拾八名

廣島中學校

教員八人

生徒八拾八人

福山中學校

教員七人

生徒七拾三人

病院附屬醫學校

教員九人

生徒百〇四人

廣島農學校

教員五人

生徒貳拾六人

公立學校

安藝師範學校

教員四人

生徒六十七人

三叔上師範學校

教員壹人

生徒拾七人

小學校

九百六拾壹ヶ所

縣立病院

廣島病院

地方税ヲ以テ維持ス

醫員十一人

患者八千貳百〇九人

假廣島驅癘院

醫員貳人

患者不詳

假尾道驅癘院

醫員貳人

現在患者貳拾四人

公立病院

三次病院

醫員五人

患者二千六百六十二人

免許開業醫、數

壹千八百九拾人

内務省免許六拾五人

從來免許壹千六百三拾五人

第拾四号律ニ依リ免許百九拾人

産物、品名及其出来高并輸出、價

品名	産額	輸出金額
米	七二一、七九二 <small>石</small> 〇九二	一六五、九八三 <small>圓</small> 三二九
裸麦	三三二、六四四	一六、一九五〇〇〇
大豆	二、三、四一七	二、四七六六二四
甘薯	一、二、一、一五五、二二四 <small>斤</small>	一、七、四四六三、五二
寶錦	一、六、五九五、七九七	三、二、五二七、七三七

葉藍	二、一三九、七四一	三一〇	一、六〇四、八〇六
葉烟草	五七四、〇八〇	三〇〇	二、四〇五、一三二
麻	一、三四四、〇〇三	三五〇	九、七三五、八四四
蘭	八、六七一、〇二九	五〇〇	
菜種	一、一七六、五八六	八六五	
甘蔗	二、一九九、九二〇	九五〇	
製茶	一、九四、四七八	八〇六	一、九六九、〇九七
木綿	六、〇七、五〇九	〇〇〇	七、二九七、五〇〇
板類	四、八〇、七〇〇	〇〇〇	一、〇〇九、五〇〇
食塩	五、六四、七四五	〇七〇	四、〇一六、六六四
乾蝦	一、〇三、二一五	〇〇〇	一、三二六、二四五
大洋紙	六、二八、六五四	〇〇〇	四、八八四、六六六

管内開墾總及別

貳百。貳町。四畝拾八步九一 至明治十三年

全荒地起迄總及別 三百九拾町七畝九畝貳拾七步 全

全荒蕪地總及別 三百貳町八畝三畝廿一步四四 全

牧場

壹ヶ所 備後國神石郡仙養原

種類 内國種蓋此原、匠田村、匠傍各村、共有地ニシテ村民自在ニ放牧ス故ニ其頭數モ詳ク能ハス

管内牛馬頭數

牛 七万九千四百貳拾五頭
馬 七万七千七百五拾六頭

船舶、數

寺万八千五百五十九艘

内

蒸氣船

六艘

風帆船

七艘

日本形船五拾石以上 寺千四百四拾六艘
全 五拾石未満 寺万四千三百九拾七艘

免税船

貳千三百九艘

銀行

第六拾六國立銀行
第四百四拾六國立銀行

士族

戶數七千七百九拾寺戶
人口三万四千貳百〇七人

神社

壹万〇四百貳拾五ヶ所

寺院

六千四百九拾八ヶ寺

匿拜所

九ヶ所

説教所

貳拾八ヶ所

教導職

貳千百貳拾八人

内

試補 壹千五百三拾五人

水害アル箇所

太田川沿岸、村落
 芦田川沿岸、村落
 仁光川沿岸、村落
 廣川沿岸、村落
 順茂川沿岸、村落
 沼田川沿岸、村落
 可愛川沿岸、村落
 原川沿岸、村落
 西城川沿岸、村落
 神瀨川沿岸、村落
 神谷川沿岸、村落
 多治井川沿岸、村落
 元安川沿岸、村落

川添川沿岸、村落
 天満川沿岸、村落
 京橋川沿岸、村落
 猿猴川沿岸、村落

社倉

儲蓄

叔貳万八拾壹石七斗四升八合七勺五才
 米壹千九百五拾八石六斗貳升三合貳勺
 麦壹万壹千七百七拾六石四斗三升八合五勺
 金貳万四千三百六拾壹兩八拾五錢六厘

義倉

儲蓄

叔貳拾八石壹斗六升四合

麥七拾石四斗八升五合五勺

米價

平均一石ノ相場

明治十五年

上米六四拾壹錢二厘

中米六四。五錢三厘

下米五四九拾壹錢八厘

麥價

平均一石ノ相場

全

上麥三四五拾壹錢八厘

中麥三四四拾七錢三厘

下麥三四貳拾八錢八厘

救

助ヲ請クル民ノ數

四百拾貳人

持穀人

三百七拾八人

巡察個所
備後國

深津郡府中町

福山 義倉社

六月二十四日

該社ハ寛政末年ニ起因シ文化元年ニ
至リ河相楚賢ナルモ上下ノ為メ之
ヲ設立ス當時楚賢(阿部備中守正精ノ
代)藩ノ用達ヲ勤メ大ニ藩主ノ寵ヲ承
ケ且人望アリテ頗ル管内ノ信用ヲ得
タリ于時藩主石州銀三百貫目ノ負債
アリ但年一割五分ノ利子之ヲ此社ニ
於テ返金シ其負債ヲ支消ス而シテ一
割五分ノ利子ハ藩ヨリ年々此社ニ下

附シ十五年ニ至リ止ム是亦本社ノ
 請ニ依リ己ニ十五年ニテ元金ノ數ニ
 充ツルカ故ニ其元金ノ返辦ヲ要セス
 全ク之ヲ獻納セルヲ以テナリ藩主益
 厚ク此社ヲ遇シ常ニ吏員一人ヲ附ケ
 置キタリ且專ラ窮民救助ヲ主トスル
 ヲ以テ特ニ義倉ノ名ヲ與フ因テ義倉
 社ト稱ス爾後獨リ救助ノミナラス藩
 學校即チ舊弘道館後改テ之誠館、年
 々書籍ヲ納メ又毎年醫學生三人ヲ撰
 拔シ學資金ヲ出シテ修業セシム其後
 廢藩置縣即チ小田縣ヲ置カル小田縣
 ニ於テモ右ノ如キ經歷アルヲ以テ屬

吏杉山新十郎外二人ヲシテ該社ノ掛
 トス而シテ小田縣廢セラレ時勢ノ變
 遷ニ遇フト雖モ社員ハ従前ノ主義ヲ
 守リ之ヲ維持セリ

同郡福山舊城内

同日 深津、沼隈 郡 役 所

郡長岡田吉顯書記十八人郡内戸數三
 万千百五戸人口十四万八千六百五十
 七人内深津郡戸數一万六千七百十三戸
 人口四万七千五百四十人沼隈郡戸數
 一万五千二百六十一戸人口七万四千
 七百十五人安那郡戸數五千七百十一
 戸人口二万六千四百二人三郡地租合

シテ十五万四千二百九十八円三十九
銭一厘

同郡福山西町

同日 福山警察署

署長一色亮之進警部補三人巡查五十
六人分署四ヶ所本年一月ヨリ五月迄
盗難届三百十捕賊百六十九人ナリ違
警罪犯三十九人ナリ

同郡福山

同日 福山中學校

校長若井遜該校ハ明治十二年元福山
藩ノ學校ニシテ之誠館中ニ設立教員
八人生徒現員七十一人

御調郡尾道久保町

同月二十五日 尾道警察署

署長警部倉内末隆代理警部三村省外
ニ警部補二人巡查六十七人分署四ヶ
所本年一月ヨリ五月迄賊難二百七十
二捕賊六十四人

同

同日 尾道監獄支署

書記兼看守長船津任重在檻ノ現囚百
二十二人内已決四十人未決八十二人
此内病囚二十三人アリ檻舎甚狭隘ニ
シテ一坪七八人ヲ容ル但他ノ場所ハ
新築中ニテ其工事ノ速カニ落成アラ

ン一ヲ縣廳ニ促ス情况ナリ

同

同日

廣島始審裁判所尾道支廳

所長判事淺野頼之檢事松本素彦判事
補四人檢事補三人本年一月ヨリ六月
二十五日マテ公判三百件豫審百八十
一件民事二百四十四件控訴七件昨十
五年公判五百二十七件豫審四百二十
三件民事五百四十件控訴十九件

同

同日

尾道治安裁判所

判事補小助川光顯本年一月ヨリ五月
マテ民事四百十二件勸解千六百八十

三件昨十五年民事七百三十四件勸解
二千七百三十八件

同所古寺ノ内

同日

尾道驅梅院

醫員二人現今入院患者二十四人此患
者ノ為メニ讀書習字裁縫ノ業ヲ授ク
然レモ甚々体裁ヲ得ス

尾道

同日

東小學校

校長溢谷榮造明治九年設立教員十八
人生徒現員九百八十七人教場中教員
ハ立テ之ヲ教ヘ生徒ハ坐シテ業ヲ受
ク其坐スルノ体タルヤ銘々手文箱ニ

倚テ學フ椅子卓ニ就テ學フモ僅カニ
十四五人又教授ノ法タル一教場ニ於
テ三四ノ教員修身講義及其他ノ授業
ヲ為ス騷カシキコト限リナシ

尾道

同日 西小學校

校長ハ東小學校ヨリ之ヲ兼ヌ明治九
年五月設立教員七人生徒現員四百二
十人教授方總テ東校ニ異ナルナシ

同日

御調郡役所

郡長多田寛書記十五人御調郡戸數二
万四千六百九十三戸人口十一万二千

三百三十人地租金九万二千六百五千
八百六十六錢二厘世羅郡戸數六千七
百七十二戸人口三万三千四百八十一
人地租金六万九千九百六十七錢

御調郡西野村字八坂山

同日 銅坑

沿隈郡藤江村山地右工門七借區ニテ
明治十三年三月着手同十四年七月ニ
至リ初メテ礦脉ヲ得ル來今日迄出礦
高十六万三千七百七十七貫目此製銅高
九千二百七十貫三百目此内賣高代價
二万七百日但七千二百貫目殘高代價
見込五千二百日但此殘高二千七十貫

三百目代價合計二万五千九百四
テ入費高ハ二万八百五十五円餘差引
五千四百十四円ノ利益アリ或分拆者ノ
言・據レハ此銅ニハ百斤ニ付銀分多
キハ百匁最モ以テ千モ二三匁含有
シ又此銀百匁ニ付金分二匁ヲ含有ス
ト云坑夫ハ六十人其他此場所ニ使役
スルモノヲ合テ百三十四人現時ノ借
區ハ六千五百坪ナレハ増加シテ七万
坪ニ為サレト出願中ノ由

安藝國

豊田郡忠海村

豊田郡役所

同日

郡長松浦唯一郎書記十四人郡内戸數
二万二千三百八十一戸人口十一万二
千三百二十一人地租金十三万六千六
百五十一円十九錢

賀茂郡四日市

賀茂郡役所

同月二十六日

郡長中尾正名書記十三人郡内戸數二
万四千九百三十八戸人口十一万三千
六十九人地租金十四万六千八百七十
五円三錢三厘

安藝郡上瀬尾村

廣島紡績會社第一工場

同日

頭取亀岡勝知該工場ハ昨十五年六月

農商務省ヨリ四万六千餘円餘ヲ以テ
拂下ケタリ水車力ハ二十馬力鑿數二
千ナリ同年七月開業然ルニ最初ハ相
應ノ水力ヲ以テ番械ヲ運轉セシト雖
モ同年八月頃ヨリ漸次減水シ半休業
同様トナル此社ノ組織ハ舊無禄士族
七十二人舊有禄平民千五百餘人舊小
人三千三百餘人ヲ以テ成ル其社員凡
五千有餘人ナリ而シテ一昨十四年此
社員舊無禄士族一人ニ付六十円舊有
禄平民一人ニ付四十円舊小人一人ニ
付三十一円五十三錢八厘ノ割ヲ以テ
二十万四千四百二十四円ヲ拜借シ

縣廳ニ於テ預リ置キ右等工業ノ費用
ニ支出スト云

同郡海田市

安藝郡役所

同月二十七日

郡長澤原為綱書記十一人郡内戸數二
万七千六百八十八戸人口十三万二千
三百三十一人反別二万四千四町三反
六畝七步

同

安藝師範學校

同日

校長郡書記豊田實穎之ヲ兼テ教員四
人生徒現員六十七人郡中協議費ヲ以
テ維持ス經費金八百四十一円八十四

錢

廣島區水主町

同月二十八日

病院

院長醫學士伴野秀堅外ニ醫學士二人
醫員八人藥局掛六人該院ハ明治十年
六月ノ創立病室二十九現今入院患者
三十四人但自炊外來患者平均一日百
餘人病院附屬地アリ此地ハ舊藩主ノ
別業ニシテ泉水蔡山等アリ頗ル幽邃
ノ所ナリ故ニ之ヲ患者ノ遊歩場ト為
ス

病院附屬

同日

醫學校

校長兼一等教諭醫學士佐野龍太郎外
ニ醫學士二人皆病院ヨリ之ヲ兼テ教
員六人アリ該校ハ明治十年創立教場
六室解剖場一ヶ所現今生徒百四人内
公費生五十人自費生五十四人ニレテ
同十四年四月ヨリ十六年一月ニ至ル
卒業生ニシテ内務省醫術開業免状ヲ
受シモノ四十三人

同區中島新町

同日

廣島區役所

區長栗原幹書記十二人區内戸數二萬
五百七十四戸内士族三千九百九十戸
人口七万七千四百七十人内士族一万

七千九百三十六人其極貧者三百八十
八戸地租三万四千六百六十九円七十二
錢一匁

同區竹屋町

同日 檻 獄 本 署

警部兼副典獄四本研一已決現囚九百
二十四人

同區水主町

同日 未 決 檻

在檻ノ現囚二百四十五人檻房十五此
檻ニテハ時々破獄ノ企アリト云

同區天神町

同日 租稅局出張所

所長大藏権必書記官詫摩之武該出張
所ハ廣島山口兩縣收稅ノ管ス

同區上流川町

同日 病 院 分 局

局長飯島素亮該分局ハ明治十一年六
月創設外來患者日々八九十人病室ナ
キヲ以テ入院患者アラス

同區白島西町

同日 廣島第一授産所

總監淺野忠該工場ハ山繭織木綿織及
紡績染物等ニシテ即今工男八人工女
百二十一人

同區戒善寺町

同日 同第二授産所
總監前ニ同シ該工場ハ専ラ小倉織ヲ
主トスル所ナリ目今休業中

安藝郡尾長村

同日 農學校

校長草野正行該校ニ於テ試験ノ為メ
牛酪ノ製造牛肉ノ罐詰及果實ノ罐詰
又ハグラインデーヲ製ス現今教員五人
生徒二十六人

沼田郡可部町

同月二十九日 沼田郡高宮郡役所

部長杉山新十郎書記十六人明治十五年
年一月ノ調ニヨレハ管内戸數二万九

千百四戸人口十三万四千五百八十六
人内沼田郡戸數八千九百十八戸人口
四万二千百六十六人高宮郡戸數七千七
百三十四戸人口三万五千百十二人山
縣郡戸數一万二千四百五十二戸人口
五万八千三百八十八人三郡及別九万五千
三百二十八丁一及二畝十一畝地價六
十万七千六百六十八円六十二銭五厘郡長
曰ク沼田高宮兩郡内ノ村落ニ於テ惡
弊アリ既ニ十五年度地方税ノ如キ之
ヲ徴收スルノ期ニ方リテ不納者陸續
トシテ出テ終ニ二百餘人公賣處分ノ
旨ヲ達スルニ至レリ然ルニ公賣處分

、達ヲ受テヨリ漸次上納シ眞ニ公賣
處分ヲ受ケタルモノ僅ニ二三人ニ止
マルト

高田郡吉田村

同日 高田郡役所

郡長名越巖壯太書記十五人郡内戸數
一万三千九百八十五戸人口六万五千
三百十人及別四万五千三百六十四丁
六反九畝四步郡内多治比村上甲立村
、二村ハ山林取締規約ヲ設ケ互ニ山
林保護ノ一ヲ計ルリ又郡内道路改修
ニ篤志ノ者多ク三田村平民橋崎圭三
常友村平民秋廣現太吉田村平民田中

豊人佐々部村平民永井兼雄等之レカ
首唱タリト云

廣島區下中町

七月二日 師範學校

校長兼二等教諭水谷貢明治八年四月
創立教員十人教場九ヶ所生徒現員百
二十人附屬小學生徒百七十八人小學
教場八ヶ所体操場二ヶ所

同

同日 中學校

校長兼二等教諭矢部善藏該校ハ明治
十年文部省直轄廣島英語學校ノ廢餘
ヲ本縣ニ承ケ繼キ此校ヲ開ク教員八

人生徒現員八十八人教場八ヶ所

同區小町

同日

廣島控訴裁判所

所長判事松岡康毅外ニ判事十人補一人
檢事長加納謙外ニ檢事一人書記六
名ナリ

同區竹屋町

同日

廣島始審裁判所

所長判事波多野敬直外ニ判事一人補
八人檢事楠正位代理檢事補兒玉利明
外ニ補三人本年一月ヨリ六月マテ民
事三百五十四件控訴七十八件公判六
百十一件豫審四百八十五件昨十五年

民事五百十件控訴百二件公判九百十
七件豫審八百五件

同

同日

廣島治安裁判所

所長判事補大隅復三外ニ判事補一人
本年一月ヨリ六月マテ民事六百七件
勸解九千二百八件昨十五年民事七百
九件勸解七千七百九十二件

同區舊城内

同日

廣島鎮臺

司令官野崎貞澄不在參謀長中佐小川
又ニ該鎮臺管下ノ分營ハ山口分營ヲ
引揚ケタルヲ以テ現今ノ分營ハ松山

丸亀、兩所ナリ

同區幟町

同日 幟町小學校

該校ハ明治九年二月創立教員十四人
生徒現員八百八十二人教場十ヶ所

同區東流川町

同日 修道學校

校長山田養吉該校ハ明治十年五月ノ
建設ニシテ舊藩主淺野氏ノ私立ニシ
テ従前ハ淺野學校ト称シタレシ今ハ
修道學校ト改称ス專ラ漢學ヲ主トシ
旁ラ算術劍術ヲ授ク教員七人生徒現
員四十七人内塾生二十四人教場四ヶ

所本校月々ノ費額百二十五圓ニシテ
悉皆淺野氏ヨリ支出ス

同區大手町一丁目

同日 廣島警察署

署長警部安立彦七外ニ警部三人補九
人巡查二百三十六人分署二ヶ所本年
一月ヨリ六月迄盜難届七百二十四捕
賊百六十八人ナリ

同區袋町

同日 櫻川小學校

明治七年十一月建設教員十四人生徒
現員八百五人一ヶ年ノ校費九百七十
餘

同區中島本町

同日

私立開成舎

舎主能美圓乘私立ノ小學校ナリ舎主ハ元安藝國山縣郡大朝村圓立寺ノ僧ナリ現今教員五人小學生徒三百五十五人漢學生徒七十一人

佐伯郡小深川村

同日

紡績會社第二工場

本月三日開業社長社員第一工場ニ同レ此日初メテ一部分ノ機械ヲ運轉ス水勢八十馬力錐數三千建築費營業費器械代其他諸費トモ合計八万五千六百八十二円餘

同郡二十日市

同日

佐伯郡役所

郡長岩本元行書記十五人郡内戸數二万三千十八戸人口十萬九千七百四十二地租九萬千九百九十七円三十一錢三厘

同郡

嚴島小學校

同月四日

教員七人生徒現員二百三十人

同郡大野村

防盜器製造所

同月五日

大野村平民大島慎一郎宅ニシテ防盜器械ハ慎一郎カ發明スル處ト云電氣

ノ働ヲ以テ發聲シ 眠ヲ驚カス 仕掛ナ

備後國

三次郡上里村五日市

六月三十日 三次郡役所

郡長中島干城書記十二人管内戸數一
万二千二百七十八戸人口五万五千百七
人内三次郡戸數六千七百九十七戸人
口三万三千二百九十二人三次郡戸數
四千四百八十一戸人口二万四千八百十
五人及別七千六百六十三丁八反一畝十
歩

同

同日 三次治安裁判所

所長判事補永田平太郎外判事補二
人本年一月ヨリ六月マテ刑事九十四
件民事九百三十七件勸解三千三百六
十四件昨十五年刑事百九十件民事九
百三十八件勸解三千六百五十七件

同日 五日市小學校

訓導本莊胖外ニ教員七人生徒現員五
百五人教場六ヶ所

同日 三次警察署

署長警部三村省外ニ一人補三人巡查

六十一人分署五ヶ所本年一月ヨリ六月マテ重軽罪犯三百五十六人違警罪二十九人昨十五年重軽罪犯七百五十七人違警罪七十七人

同

同日

三次病院

院長原田総警員四人該院ハ最初廣島病院分局ナリシヲ昨十五年人民ノ請願ニヨリ郡立病院ト為セリ目今患者九十人ナリ病室ノ設ケアラサルヲ以テ入院患者ナシ

同

七月一日

三次監獄支署

警部補兼青守長村上彦八現在囚二十五人内未決十二人已決十三人外ニ乳児二人

備後國三次郡三次ヨリ

安藝國廣島ニ通スル

里道

同日

是即安藝國三田村農民楠崎圭藏カ發起ニテ沿道備後國三次郡青賀村下川立村安藝國高田郡高田村下小原村戸島村長田村井原村秋山村三田村高宮郡狩留家村中深川村岩止村安藝郡戸坂村牛田村等ノ村々ヲ獎勵シ改修スル所ニシテ工事殆ント功ヲ竣ントス

里程凡十七里ナリ